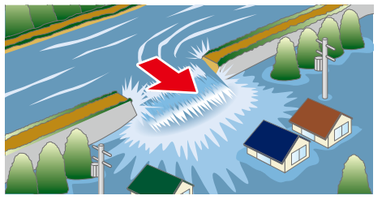
大阪市ではどんな水害が起こるの？

大阪市では、河川管理者等（近畿地方整備局、大阪府、大阪市）によって大雨が降った場合や地震による津波が発生した場合の浸水が想定されています。想定されている水害は、河川氾濫、内水氾濫、津波浸水の3種類です。

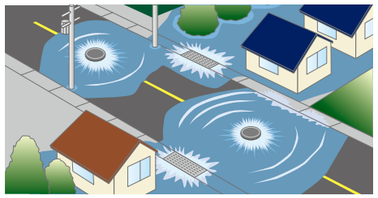
河川氾濫

長時間雨が激しく降ると、河川の増水により堤防が壊れたり、堤防から水が溢れ出して浸水します。



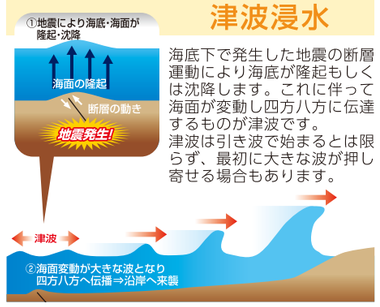
内水氾濫

水路や下水道の排水能力を超える大雨が降ったり、河川の水位上昇により十分に排水できなくなると、雨水が溢れ、住宅地や道路などが冠水します。



津波浸水

海底下で発生した地震の断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し四方八方に伝達するものが津波です。
津波は引き波で始まるとは限らず、最初に大きな波が押し寄せる場合もあります。



大阪市全域の浸水想定図

浸水想定結果は、下に示す条件の場合に浸水が想定される区域やその深さを表したものです。しかし、雨の降り方や地震の大きさによってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。

河川氾濫（堤防が決壊した場合）

①淀川が氾濫した場合

②大和川・東除川が氾濫した場合

③神崎川・安威川が氾濫した場合

④寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路が氾濫した場合

内水氾濫

⑤内水氾濫した場合

津波浸水

⑥東南海・南海地震による津波が発生した場合

⑦南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合

①②浸水の深さ
- 0.5m未満
- 0.5～3.0m
- 3.0～5.0m
- 5.0～10.0m

③～⑦浸水の深さ
- 0.1m未満
- 0.1～0.3m
- 0.3～0.5m
- 0.5～1.0m
- 1.0～2.0m
- 2.0～3.0m
- 3.0～4.0m
- 4.0～5.5m
- 5.5～7.5m
- 7.5～10.0m

想定している雨や地震の条件と浸水想定結果や河川整備等に関する問い合わせ先

	河川・津波	想定している雨や地震の条件		公表年月	問い合わせ先	電話番号
①	淀川	総雨量注1) 360mm の降雨	1年に起きる確率が1／1000程度の確率の降雨	平成 29 年 6 月	国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所	072-843-2861
②	大和川	総雨量注4) 316mm の降雨	1年に起きる確率が1／1000程度の確率の降雨	平成 28 年 5 月	国土交通省近畿地方整備局 大和川河川事務所	072-971-1381
②	東除川	総雨量注1) 233.9mm、時間最大雨量注1) 75.8mm の降雨	100 年に一度起きる程度の降雨	平成 17 年 7 月	大阪府富田林土木事務所	0721-25-1131
③	神崎川	総雨量注1) 567mm、時間最大雨量注1) 93mm の降雨	東海豪雨級の降雨注2)	平成 25 年 2 月	大阪府西大阪治水事務所	06-6541-7771
③	安威川				大阪府茨木土木事務所	072-627-1121
④	寝屋川・第二寝屋川・平野川平野川分水路			平成 24 年 3 月	大阪府寝屋川水系改修工営所	06-6962-7661
⑤	内水氾濫注3)			平成 27 年 2 月	大阪市建設局下水道河川部	06-6615-7594
⑥	東南海・南海地震津波	マグニチュード 8.6 程度の地震が発生し、防潮扉（夜間、開放されているもの）などが閉まらなかった場合に津波による浸水が起きた場合（満潮時を想定）		平成 16 年 3 月	大阪市港湾局	06-6615-7782
⑦	南海トラフ巨大地震津波	マグニチュード 9.1 程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合（防潮堤の沈下や防潮施設の開閉状況を考慮）（満潮時を想定）		平成 25 年 8 月	大阪府危機管理室防災企画課	06-6944-6487

注1）総雨量は、雨の降りはじめから降り終わり（2～3日間）に降った雨の総雨量で、時間最大雨量はその期間中、最も雨が多く降った時間の1時間あたりの雨量のことです。
注2）平成12年9月に、東海地方で観測された過去100年間で最大級の豪雨。約58万人に対して避難勧告、指示が出されるなど大きな被害をもたらしました。
注3）内水浸水想定では、寝屋川・第二寝屋川・平野川・平野川分水路において、河川の水位が高くなった場合に、堤防の決壊を回避するため下水道から河川へのポンプ排水量を制限することを想定しています。

このパンフレットに関するお問い合わせは、大阪市危機管理室まで　TEL:06-6208-7385
このパンフレットについては、大阪市危機管理室のホームページでもご覧になれます。http://www.city.osaka.ig.jp/kikikanrishitsu/

平成30年1月（第4版）

保存版

津波・水害から命を守るために
水害ハザードマップ
鶴見区

津波

東日本大震災
（平成23年3月）
（提供:国土交通省東北地方整備局）

河川氾濫

平成25年台風18号による嵐山地区の浸水被害状況
（平成25年9月）
（提供:国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所）

内水氾濫

梅田地区の浸水被害状況
（平成25年8月）
（提供:市民）

地下街浸水

福岡市営地下鉄博多駅への浸水被害状況
（平成15年8月）
（提供:国土交通省九州地方整備局）

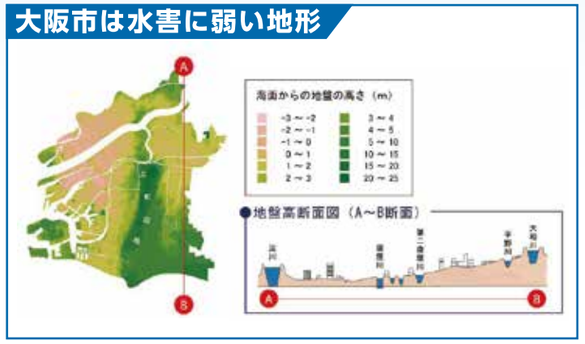
近年、河川や下水道の能力を超える豪雨が増えています。近畿地方では平成25年9月の台風18号で由良川や桂川が氾濫し、福知山市や京都市嵐山地区などで大規模な浸水被害が発生しました。大阪市でも、平成25年8月に発生した集中豪雨により梅田地区で内水氾濫が起こりました。

また、平成23年3月の東日本大震災ではマグニチュード9.0の地震による大きな津波が発生し、甚大な被害をもたらしています。

大阪市は、淀川、大和川、神崎川、寝屋川などの大きな河川と海に囲まれており、平坦な低地が広がっています。そのため水害に非常に弱く、大雨や津波が発生した場合、河川氾濫や内水氾濫、津波浸水が起こることが想定されています。

この「水害ハザードマップ」は、大雨や津波に備えて、市民のみなさんに知っておいていただきたいことや、河川氾濫や内水氾濫、津波により浸水が予想されている区域と浸水深を示した地図をまとめたものです。このマップを確認し、水害からご自身やご家族、地域を守る活動にお役立てください。

大阪市は水害に弱い地形



防災情報の収集先一覧

避難の情報	おおさか防災ネット（防災情報メール）	http://www.osaka-bousai.net/pref/index.html touroku@osaka-bousai.net
水位・河川の情報	国土交通省川の防災情報 大阪府河川防災情報	http://www.river.go.jp/ http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/index.html
津波の情報	気象庁	http://www.jma.go.jp/jma/index.html
気象（雨など）の情報	気象庁 大阪市降雨情報	http://www.jma.go.jp/jma/index.html http://www.ame.city.osaka.lg.jp/pweb/

おおさか防災ネット　川の防災情報　大阪府河川防災情報
防災情報メール登録　気象庁　大阪市降雨情報

大阪市